

「協働のまちづくり市民会議×熟議 2024」熟慮課題

若者が政治に関心をもつためには

現在、若者（30 歳未満の国民を想定しています）の選挙での投票率の低さや政治への関心が高まらない現状を重大な課題と考え、「協働のまちづくり市民会議×熟議 2024」では、若者がもっと政治に対して関心を持ち、政治に関わることを阻害する要因はどこにあるのか、またその解決のためにどのような施策が必要であるのか、を 7 月 13 日(土)に議論をいたします。

議論に備え、課題の背景や解決の方向について事前に考え、整理をしてください。これが熟慮の段階です。「熟慮」をより円滑にするため、本日の熟慮講演会の内容も参考にしながら、下記の熟慮課題に取り組んでください。

熟慮課題への回答は 400 字以内での記述をお願い致します。箇条書き形式の記述でも結構です。

課題

若者が政治、あるいは政治家や政党について、より身近に感じるようになるためには、どのような方法があると思いますか。

ところで、AI に上記の熟慮課題を質問したところ、次のような解答がありました。

まず、学校教育での主権者教育を強化し、小中高校で政治や主権者としての基本を教えるとともに、政治家や政策立案者と交流する機会を設けることが重要です。次に、情報の透明化を図るために、政治家や政党の活動をリアルタイムで伝える SNS アカウントの活用や、政策の説明や議論をわかりやすく伝えるメディアを増やすことが必要です。

若者向けの政治イベントや討論会を増やし、意見交換の場を提供すること、さらに若者が参加しやすいボランティア活動やインターンシップの機会を拡充することで、政治への関与を促進します。加えて、投票や政治参加を促進するアプリやウェブサイトの開発など、デジタルツールの活用も考えられます。最後に、若い政治家や活動家をメディアで取り上げ、同世代のリーダーシップを示す成功事例を紹介し、若者に身近に感じられる存在を増やすことが重要です。(366 文字)

熟慮課題はオンラインで提出が可能です。

下記の URL にて「協働のまちづくり市民会議×熟議 2024」の熟慮のページにアクセスをしてください（QR コードを読み取りアクセスすることもできます）。

<https://forms.gle/q38M7BD3BNm2NNFZ9>



課題記入のページに入り、直接、ご記入頂くか、あるいは事前に Word などで作成されたファイルを添付し、送付をしてください。

締切 7 月 6 日 (土) ご案内では熟慮期間を 6 月 28 日(金)までとしております。熟慮の上、締め切りまでにご提出をお願い致します。